

いねる民報

社報民きわい
 (第一三三號) 毎月一日発行
 已ル千八百九十一年
 除九日曜日外 日刊
 十二日一月五十一日一頁

内科小兒科眼科外科
 産科婦人科耳鼻咽喉科
 皮膚泌尿器科
 小名浦町
富ヶ浦病院
 院長 安田善一
 電話 三十三番

興味深い輿論調査

産見制限問題や 張切る卹會が

活潑な活動を開始した平商關係に二大別し更に必要とするも、
 卹會では、今度高崎三千雄君の提案は、食糧難に注意下り、米の
 中心となり、懸案たつの解決するまで一定期間中を、米の花壇を
 輿論調査に乗出すことに決定、或は婦人解放の見地より等々の
 二十三日平商生の應援を受けて六項目に必要なしとするもの
 調査カードの配布を行った、調査は、人口は國家の唯一の資源
 事項は一般的なものとして行はるがためと、自然淘汰に
 ▼現在隣組はうまくいっている解決がつくとするもの等々四項
 るか、おなじく隣組制度は日に分類してある尙双方ともた
 今後存続すべきか否か、現在、職業年齢を記入し名前は記入
 の政黨ではどの黨に好意をもちないこととしてある上に双方
 つか、何れにもたぬか、自共最近回答者が興味をもつて、
 分達の御として最近不自由をんだ単行本及雑誌をも書き込む
 感じてゐることは何か、今まやうになつてゐるので、調査結
 果は市民の思想的動向や市政に
 対する希望等もわかるので非常
 重要なる資料を得ることが
 できるもの、必要なしとするもの

比佐氏を委員長に

湯本町長公選は九日に延期

湯本町町長公選は去る六日の町
 會で八月五日と決定したが炭礦
 の公休日が九日の關係上四日延
 期して愈々八月九日を確定、選
 舉委員長に比佐源造氏、副委員
 長に小野英二郎氏等十名の委員を
 擧げ七月一日現在居住満二十才
 以上、大正十五年六月三十日生
 (以降)の男女も有権者とし復員
 者には特に公選日の五日前現在
 居住者をも認めることに決定し

草野驛美化

石井驛長の盡力

祖國の再建は先づ明朗さからと
 常務委員草野驛氏は石井驛一
 常務委員は官業との頭を
 の音頭で全職員は官業との頭を
 脱却、民衆化をはかると共に特
 合案は美しいポスター等で飾
 る一面投書箱をも設置乗車券の
 發賣方法、職員の應接、荷物の
 託送、交通道徳、驛の設備等の
 五項目について一般の遠慮ない
 投票を求め購改善の参考に資し

青果物統制協議會

廿五日新公價發表に基いて

青果物公價發表に依る郡内の青
 果物統制協議會は二十五日十時
 から農業者支部で青果物統制令
 本會取扱要項の設置、青果物出
 荷割當等に就いて、午後一時か
 らは農業者關係者を、午後一時
 からは警察、市役所、業者を招
 致協議する

素描同人展

廿七、八の兩日間

第一回油繪展を五月開演好評を
 得た同人會の柴田善登、若松
 光一郎、熊坂太郎、柴田左千雄
 鈴木新夫、鎌田正藏の六新進點
 家連は二十七日、八の兩日マルト
 モホールで第二回素描同人展を
 開催する

黄金の雨

坪當り一斗六升

平天織きの折柄二十日夜から
 二十三日午前中にかけて黄金の
 雨が降り、農家を喜ばせた、雨

酒精中毒死

石城郡好間村上好間中内抗夫柳
 沼喜代親(三七)は二十三日アル
 コール中毒で死す

和田部氏

日素社長に

長戸社長は取締役
 役員長に就任す
 小名浦町の日本水産工業工場
 は終戦後タタノール生産を増産
 の對象たる確安生産へ大轉換を
 行つたが、いよいよ今度日昭會
 社の資本系統に依り長戸社長は
 第一線から退き取締役役員長とし
 社長の椅子は和田部氏に譲ること
 と決定、これを機に内部機構
 を改革し新發展することになつ
 た

第二回目の衣料品

配給方法その他も決定さる

第二回の衣料品配給は二十日行
 田村太郎さん(七四)で妻や息子
 はれた地獄統制組合の配給委員
 會で左の如く配給方法が決定さ
 れた

布地類一人一人一、五ヤ
 ード、三人一五ヤード、五ヤ
 ード以上は一人一ヤードの
 六人以上は一人一ヤードの
 割出し三巾のものは計算一ヤ
 ードに付せ、一ヤードの割
 となる二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

孟蘭盆會は八月に

今年から又統一して行ふ

平市では孟蘭盆會は市常會の申
 合せにより、去る十九年から隔
 隔一ヶ月遅れの八月に執行する
 ことになつてゐたが、その後戦
 局の激化に伴ひ折角の中合せも
 齟齬に歸して、區々になつて
 まつたのを遺憾として、丁度今
 年は陰曆の日が區々となつてお
 るのを幸に、さきの申合せをこ
 りに復活統一をとることに決定
 市常會を通じて全市民へ通達し
 た、尙石城名物じやんがら念佛
 も今年に華々しく行はれるもの
 とみられてゐるがこの点に關し
 ては目下食糧事情その他に鑑み
 慎重し研究を進めてゐる

未利用資源活用展

三十、三十一の兩日公會堂に

食糧危機の突破には未利用資源
 の活用が重大な役割をもつても
 構はず、一般には未だ徹底せぬ
 情勢にあるので、平市では未利
 用資源の雑草から作つた粉、こ
 れを利用しての代用食パンその
 他他の現物を目の前にみせて
 市民の關心を喚起しやうと来る
 三十、三十一の兩日公會堂に未
 利用資源活用展を開催する

湯本町公葬

湯本町では二十四日午後一時か

湯本町高等女學校講堂で左の十
 一柱英靈の公葬を執行
 故海軍大佐佐分利内午(榮田)
 海軍二等機關兵曹渡邊傳

伝染病の注意

四倉町が町民へ

最近各地に悪疫が流行してゐる
 が、四倉町では海水浴季節とな
 つた今日この頃萬一こんなもの
 に流行されたり浴客に迷惑をか
 けるばかりか、町の損失が大き
 いと二十三日全町民に對して衛
 生に對して注意するやう特に町
 民の自覺を促した

恩師を偲ぶ

湯本松本氏等の

湯本町高等高等小學校當時の卒
 業生松本庫造氏、御代一氏、遠
 山勇氏等の同期生二十名去る
 十三日湯本町野原で恩師を偲
 ぶ竹馬會を開催、恩師阿部長谷
 次先生、安藤力先生、大平忠一
 郎先生の三氏を招いて謝恩會を
 開いたこの美しい企ては町の話
 題となつてゐるが湯本町食糧營
 團出張所に勤める大平先生は語

増産肥料

追肥に最適

(シエルパウダー)
 石灰 三〇、〇六六
 加里 三〇、〇七七一
 磷酸 〇〇、〇七七一
 大量注文ニ應ズ農業者ノ申込優先發送ス
 各町村一ヶ所特約販賣店ヲ求ム(委細面談)
平肥料興業有限會社
 平市二丁目電話二〇二二、二〇八番

行倒れ老人に

恵む人情の花

湯本町上町さかや商店前で二
 十日夜行倒れてゐる老人があつ
 た 本籍群馬縣石碓市南町太

言寸きわ

▼卹會で輿論調査を實
 施する、産見制限問題
 は兎に角、隣組の存続
 問題や市への希望、政
 黨の問題等はなかなか
 興味深いものがある
 どの結果が現れるが早くみた
 いもの、湯本町長の公選、炭礦
 の休日關係から九日に延期さる
 ることを切に祈る
 ▼未利用資源の活用をめざして
 展示會を開くことある、眞に結構
 ながら更に一歩を進めて講習
 今迄進めてみては如何
 ▼三浦内務部長二十五日來平初
 巡視とある形式一点張りの表面
 の巡視でなく、市郡民の生活そ
 のもの、實態を窺つてみて貰ひ
 たいもの
 ▼青果物公價で再統制、炭礦
 地帯と二個の集荷では、見返り
 品を持たぬ平市あたりは市配給
 ても不利、このところ市配給し
 課あたりでは是非巧みに處理し
 て貰ひたいもの

薯は詰めず

市勸業課からの

市民への御注意
 食糧危機突破に目下各家庭に薯
 の配給が行はれてゐるが、この
 配給が家庭では後や前に詰め込ん
 で貯蔵してゐる向が多いのに對
 して、市勸業課では萬一こんなこ
 とで貴重な薯を腐らせてしまつ
 てはと二三日前全市民に對して
 薯は日光に直射せしめず又俵や
 箱等に詰めずひらけて置くや
 うにと注意を發した

長唄教授

初心者でも、長唄稽古され

てゐられる方々でも御指導致し
 ます
 平市松ヶ岡公園
稽古場所 旅館 松 島方
 (電話二二〇番)
宗家直門 芳村伊知松

